



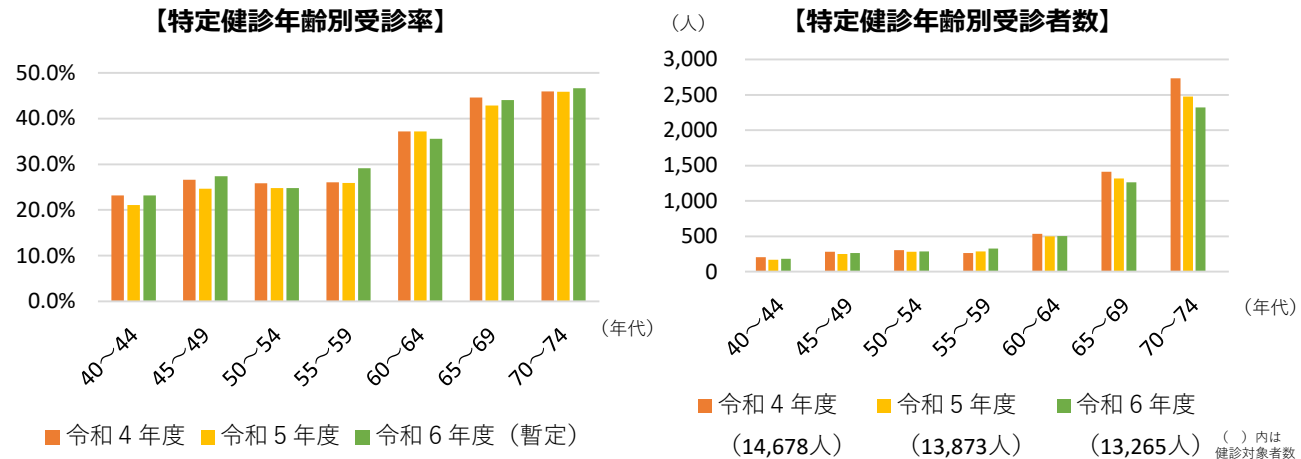
1 現状と目的

特定健康診査（以下「特定健診」という。）については、「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、生活習慣病の早期発見・予防のため実施している。草津市国民健康保険における特定健診の令和6年度の受診率は、38.8%（暫定値）と令和5年度の38.0%よりも増加しているが、まだ若年層での受診率が低い傾向にある。

第2期草津市国民健康保険保健事業推進計画（R6～R11）に定める受診率の目標値（R11:60%）の達成に向けて、若年層の受診率の向上を図る必要があり、従来のハガキでの受診勧奨（年3回送付）のほか、集団けん診において電子申請での予約や託児サービスを実施している。

2 課題等

特定健診の受診率は、40～50歳代の若年層で特に低い傾向があり、若年層の受診率向上の対策が必要である。また、受診率の高い高齢者が継続して特定健診を受診し、生活習慣病の早期発見や重症化予防ができるよう、若年層に向けた取組を行うとともに、60～70歳代の継続受診も促していく必要がある。



3 令和6年度の取組

◇受診勧奨・周知啓発

- ・未受診者に対して、40歳・50歳・60歳・70歳の節目年齢到達者、40～50歳代の若年層に向けたもの、過去3年間の不定期受診者や未受診者など、受診状況に合わせた内容受診勧奨ハガキを年3回送付。
- ・昨年度の当協議会において、健診と医療機関ともに未受診者に対して受診勧奨を行ってはどうかという意見をいただいたことから、未受診者への電話勧奨の対象者抽出に追加し、受診勧奨を実施。
- ・広報、ホームページ、SNS（X、LINEVOOM）などでの周知啓発を実施。
- ・レイカディア大学や、他課と連携しJA・まちセン等での健康イベントにおいてチラシやポケットティッシュ等を配布。

◇受診しやすい環境づくり

- ・がん検診との同時受診や被用者保険と連携した集団けん診を実施。また集団けん診会場において、保険会社と連携した健康啓発ブースを設置。
- ・集団けん診会場において、子育て世代にもけん診を受けていただけるよう、託児サービスを実施。
- ・集団けん診の申込について、従来の電話だけでなく電子申請での予約も実施。

【特定健診の受診率実績】

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
計画目標値	45.0%	50.0%	50.0%	55.0%	60.0%	45.0%
草津市	39.3%	33.7%	36.4%	39.1%	38.0%	38.8% （暫定値）
県内平均	41.8%	35.5%	39.3%	40.1%	40.9%	

【特定健診の年齢別受診率実績(草津市 R6年度末暫定値)】

	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74
受診率	23.3%	27.3%	24.8%	29.1%	35.6%	44.1%	46.7%



4 令和7年度の取組

◇受診勧奨・周知啓発

- ・【新】受診率の向上に向けた草津市特定健診受診率向上業務において、評価分析等を含むハガキ・電話勧奨等の委託（これまではハガキのみ委託）
- ・【新】携帯電話の電話番号を活用したショートメッセージサービス（SMS）を用いた受診勧奨を実施
- ・【新】治療中患者情報提供依頼について、年度当初の受診券とともに全員に送付
- ・【新】特定健診に関連したたび丸イラストを作成し、受診勧奨啓発資材に活用
- ・立命館大学でのイベントにおいて、生活習慣病予防の測定（血管年齢等）と特定健診の啓発を実施
- ・広報、ホームページ、SNS（X、LINEVOOM）などでの周知啓発を実施

◇受診しやすい環境づくり

- ・【新】集団けん診について、若年層も買い物ついでに気軽に受けられるようにイオンモール草津を会場として実施
- ・がん検診との同時受診や被用者保険と連携した集団けん診を実施。また集団けん診会場において、保険会社や他課と連携した健康啓発ブースを設置
- ・託児サービスと電子申請を実施



体重測定する たび丸



血圧測定する たび丸



薬を飲む たび丸



栄養バランスを考える たび丸

【ご意見をいただきたい点】



若年層の特定健診受診率の向上や、高齢者に継続して受診していただくために、

令和7年度の取組についてのご意見や、新たな取組でできること

についてご意見・ご提案をお願いします。